

# 「別院会議」ルール説明

## 初期設定

別院所在地域の人口減少と、これまで別院を支えてくださっていた門徒の世代交代により、別院の参詣者は激減。別院収入も10年前に比べて2分の1以下となってしまった。伽藍の中には雨漏りなど修復しなければならない箇所がいくつかあり、修復できない場合は10年後には伽藍の使用が困難となってしまう状況が予見される。しかし、修復に充てる資金は不足している。そのような中、6年後までに別院の存続の可否を決めなければならなくなった。別院存続のためには、別院を活性化し、伽藍の維持管理をできる程度の収入を得ることが必然である。そのような困難な状況の別院運営をどう考えていくか、幅広い意見を取り入れるため、輪番を1年交代制として、1年ごとに方針を決定する会議が開かれることになった。



## 「別院会議」の目標

目標は、「6年後の別院の理想的な姿」を協力して作り上げることである。別院に関わる人々とのつながり（寺院関係者・地域住民）や資金の増減を参考にして作りあげる。別院の現状やメンバー一人一人の考え方によってどの項目を重視するかは異なってくる。一人一人の行動カードの選択が、「別院のこれから」を大きく左右することになる。



人とのつながり(初期値：+5) 資金の増減(初期値：+8)



寺院・門徒の人々



プラスの場合



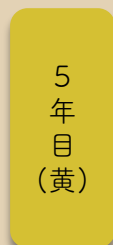
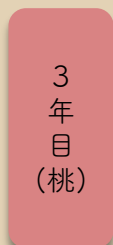
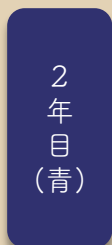
地域の人々



マイナスの場合

## 「投票」と「決定」のルール

「別院会議」では、毎年（ゲームの1ターン＝1年）輪番が交代し、輪番にはその年に選択する行動カード2枚の最終決定権が与えられる。メンバーは該当する年に合った色の「個人投票用コマ」を選びたい行動カードの上に置き、理由や議論したいことを発表する。輪番はそれらの議論を踏まえて最終的な意思決定として「輪番決定用コマ」を置く。



個人投票用コマ



輪番決定用コマ